2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">ゼミナール I</p>	<p>対象学科・学年 教育教福3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">大槻美智子</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">自分の興味を口頭発表やレポートという形にしあげる。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p style="text-align: center;">前半は「実習」に活かせる文献を探し自分の授業に取り入れる工夫をする。 後半は、卒業研究につなげられるようなテーマを設定し、調査検討の上、発表を通して意見交換。 最後にレポートにまとめる。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">出席（10%） 発表（20%） レポート（70%）</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">特になし</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">適宜紹介する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1 授業の目的、タイムスケジュール（発表の内容と順番を決める） 日本語に関する本の紹介・おすすめウェブサイトの紹介</p> <p>《実習に向けて》</p> <p>2 図書館の使い方 図書館巡り</p> <p>3 実習に向けての準備 図書館で関連する本を探す</p> <p>4 " 3を活かして発表・実演</p> <p>5 " "</p> <p>6 " "</p> <p>7 " "</p> <p>8～11 実習</p> <p>12 実習報告（3～7の取り組みが活かされたかどうかなど）</p> <p>《卒業研究に向けて》</p> <p>13・14 テーマを決める 各種雑誌の紹介、各大学のウェブサイトなどを活用</p> <p>15 各人のテーマを口頭発表する。レポートや口頭発表のポイントを解説。 《夏休みを利用して調査》</p> <p>16 発表（2人程度）</p> <p>17 "</p> <p>18 "</p> <p>19 "</p> <p>20 "</p> <p>21 "</p> <p>22 1回目の発表を踏まえて2回目の発表</p> <p>23 "</p> <p>24 "</p> <p>25 "</p> <p>26 "</p> <p>27 "</p> <p>28 レポートの書き方（説明）</p> <p>29 レポート作成作業（必要に応じて図書館やインターネットの利用）</p> <p>30 "</p>		